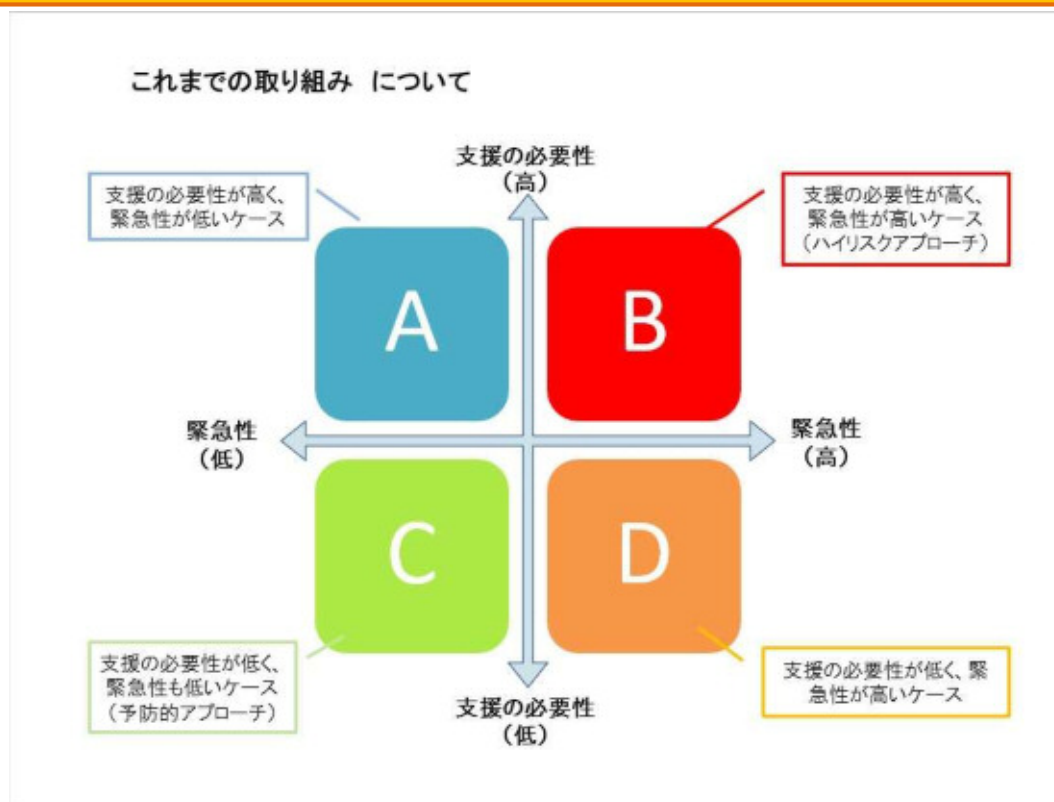


平成30年度  
第1回厚別区地域ケア推進会議

# 今までの取組み



- ・依然として、「B: 支援の必要性が高く、緊急性が高いケース」の対応が多い。
- ・「C: 支援の必要性が低く、緊急性が低いケース」を予防的に介入していくことが大事。

# 厚別区の認知症支援体制

- ・予防的アプローチのために「早期発見・早期対応」が重要！



自分や周囲が気軽にチェックできるシートがあると良い。

気付きの支援ツールを作成！  
名称は「あなたのおんしん窓口あつべつ」

平成30年度

第2回厚別区地域ケア推進会議

## 早期発見の仕組みづくり

- ①気づきの支援ツールについて ②個別地域ケア会議の良事例 ③残された課題

「自分自身の気づき」がある人も「自分自身で気づけない、気づきたくない」

認知症になってもそれがきっかけで孤立するような人を早期に発見しなければいけない！

### あなたのおんしん窓口あつべっ

広く周知するための配布方法と評価の方法

#### 【活用方法】

- ・相談会等を通じ普段予防センターの活動に繋がっていない方へ配布
- ・食生活改善推進委員会⇒すこやか倶楽部、高齢の会員
- ・区のホームページ
- ・医療機関へ配布(区内20医療機関)
- ・薬局⇒ターゲットの調剤薬局を絞り配布
- ・民生委員や地域の方⇒認知症の人へ介入したいが声が掛けられないというときのツール

#### 【評価方法】

- ・特定の調剤薬局等で一定期間の配布における状況、配布側の感想、専門職に繋がった数
- ・地区で実施して必要な方に手渡しし説明した上でチェックリストを実施。
- ・その後実際に相談に繋がった数

# 個別地域ケア会議良事例紹介

～閉じこもりがちな方の介護予防～

## 【事例①】

64歳若年性認知症  
独居 要介護1 家族道外

認知症の進行スピードが速くゴミの分別や市営住宅の棟の当番などができず日常生活に支障が出てきたためケアマネが包括へ相談

## (結果)

- ①地域と専門職の顔つなぎ、
- ②地域からの連絡体制の確認、
- ③認知症による行方不明になった際のオレンジサポーターあつべつの協力体制の確認

## (課題)

- ・認知症で一人暮らし、キーパーソンが遠方または関係が希薄な場合、介護・医療サービスのみでの支援では限界がある。
- ・認知症の理解や啓発を広く地域に向けて行い、協力を得ないと地域での生活を支えることが難しい
- ・オレンジサポーターあつべつのなり手が少ない(担い手不足)

## 【事例②】

課題: 1

サロン参加者は男性が少ない。  
⇒「閉じこもり防止」をテーマに個別地域ケア会議を複数回開催。  
⇒特に男性は既存の集まりには参加が難しい

課題: 2

地方から転居してきた方は土地勘がなく閉じこもりになりがちになりやすい。

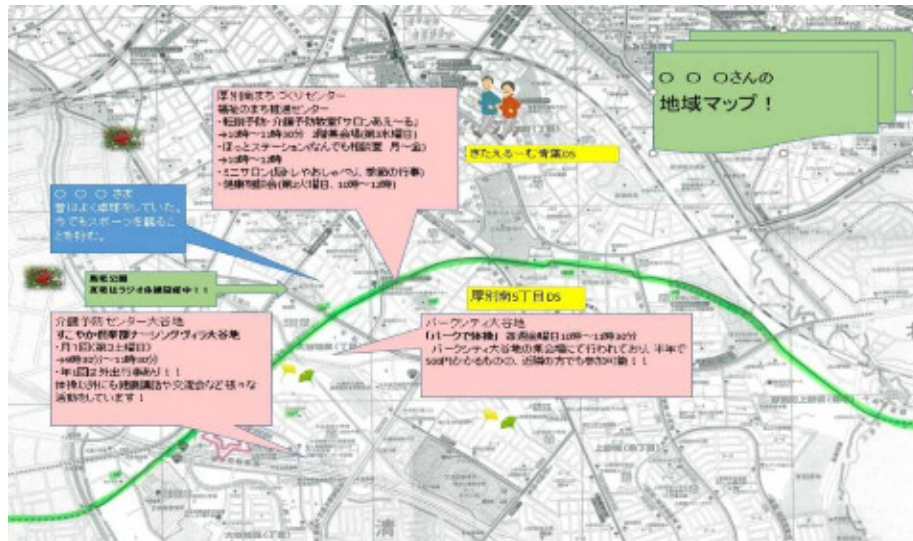
## (結果)

- ①集合場所を決め定期的に職員と個別地域ケア会議当事者とサイクリングロードを歩く取り組み実施
- ②マンション群が多い厚別南地区は呼び寄せが多いのではないかと仮説  
⇒地区課題として個別のケアマネジャーの取り組みから地区担当への取り組みへと変化した。  
・待ち合わせ場所としていた商業施設へも働きかけを実施し、理解を得て冬場も安心して歩ける場所として商業施設の店内も大幅に入った万人向けの「歩食茶(あるくっちゃ)マップ」が完成した。

## (課題)

- ・地区の転入者にマップを効果的に渡すことができる仕組みがない。
  - ・昨年度のサイクリング歩行には毎回包括の職員が付き添っていたが、マップを活用した自発的な散歩に繋がるためには仕掛けづくりが引き続き必要。
- (担い手不足)

# 「個人用のマップ」から歩食茶（あるくっちゃ）マップへ



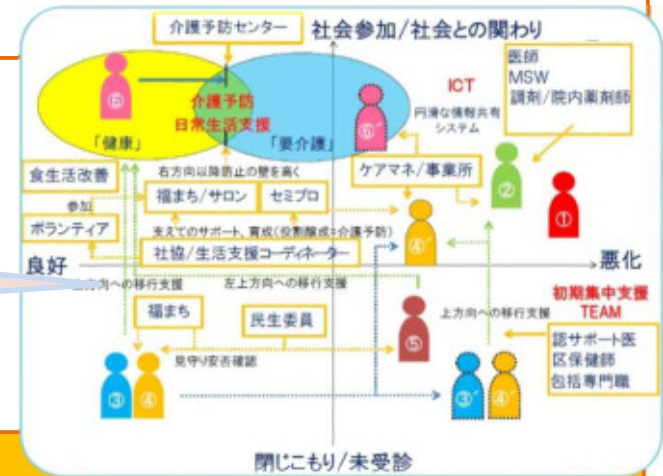
# 会議から出た課題として・・・

- ①「オレンジサポーターあつべつ」は仲間を増やすことに苦労している。
- ②歩食茶(あるくっちゃ)マップを活用して閉じこもりがちの人へ動機付けをして一緒に歩いてくれる人が不足している
- ③転入者へあるくっちゃマップを配布する方法ができていない。
- ④ヘルパー事業所が人手不足で閉鎖や縮小しておりヘルパーサービスの利用が困難になってきている。



**担い手不足**

今後について



- ・健康な人を「支え手」にする取り組みを実施していく
- ⇒サロン、予防教室など元気な人たちに「地域力」になってもらう取り組みを検討していく

もの忘れは日頃の気づきが大切です。  
相談が必要なチェックリストを試してみましょう。

**チェックリスト**

- 同じことを何度も言うとか聞くと周りから言われることが多い
- いつも探し物をしていることが多い
- 財布や通帳など大切なものがなくなる
- 約束を忘れたり、待ち合わせの場所に行き遅れなかった
- 片付けや料理、運転などが以前のようにうまくできなくなった
- テレビのドラマは話を追うのが面倒くさい
- 身だしなみを整えることが難しくなり、構わなくなった
- 趣味や好きなことに興味がなくなった
- 何をするのも億劫になった

ひとつでも思い当たる場合はご相談ください！  
かかりつけ医などの医療機関に相談したり、裏面の「**あんしん窓口**」を参考に、これからのことを早めに相談してみましょう。

作成：厚別区地域ケア推進会議



いつまでも安心して生活を送るために早めの相談を！  
「**あなたのあんしん窓口あつべつ**」は厚別区役所のホームページからもご覧になれます。

あんしん窓口あつべつ **検索**

## 厚別区の相談窓口

**ちょっと心配だな…**

- 健康に関する悩み
- もの忘れ、介護に関する悩み
- 目頃のお悩みごと

**もっと元気でいたい**

- 介護予防体操教室に関する事
- 高齢者サロンボランティアに関する事

**病院や薬に関しては**

- 症状、受診に関する事
- お薬に関する事

**厚別区役所**

保健福祉課保健支援係 ☎895-2489

**地域包括支援センター**

厚別区第1地域包括支援センター ☎896-5077  
(担当地区：厚別町山本、厚別西、厚別北、厚別東、もみじ台)

厚別区第2地域包括支援センター ☎375-0610  
(担当地区：厚別中央、青葉、厚別南、上野幌、大谷地)

**民生委員・福祉のまち推進センター（福まち）** ☎895-2483  
※担当の民生委員や福まちをお知りになりたい場合「厚別区社会福祉協議会」にお問合せください。

**介護予防センター**

厚別西東（担当地区：厚別町山本、厚別西、厚別北、厚別東） ☎896-5019

もみじ台（担当地区：もみじ台） ☎898-8660

厚別中央・青葉（担当地区：厚別中央、青葉町） ☎896-1475

大谷地（担当地区：厚別南、大谷地、上野幌） ☎894-6110

**厚別区社会福祉協議会** ☎895-2483

**医療機関**

症状については主治医（かかりつけ医）にご相談ください。受診については専門の医療機関の看護師や医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

**薬局**

普段飲んでいるお薬が余っている時は相談してください。お近くのかかりつけ薬局・薬剤師にご相談ください。

ご連絡時は「あなたのあんしん窓口あつべつをみました」とお伝えください。

## 令和元年度 第1回厚別区地域ケア推進会議

### ①「あなたのおんしん窓口あつべつ」について

- ・配布状況や活用状況を確認。
  - ・徐々に「あなたのおんしん窓口あつべつ」を見て相談も来ている。
- 2回目の推進会議では評価を実施予定。

### ②地区課題について

#### ◆「厚別区連絡会議」で共有した課題を発表

- ・相談が来た時に重度化して発見される。医療に繋がっていない。
- ・家族が呼び寄せるケースが多くなっており、交流不足により閉じこもりに。
- ・夫婦世帯でどちらか認知症になった時に周囲に相談せず、自分達で抱え込んでしまうことで発見が遅れてしまう。
- ・高齢化に伴い地域組織で担い手が不足している。

#### ◆キーワード

「呼び寄せ」

「重度化」

「近所に知られたくない」

「担い手不足」